

ARTS for HOPE 現地視察報告書

2015年10月31日 宮城県南三陸町



津波に飲み込まれる直前まで、町民へ避難を呼び続けた職員がいた災庁舎。長期の議論の末、震災遺構として残されることが決定した。
周辺は嵩上げ工事が進められ、一面茶色の景色が広がる。



近隣の山々から土が運ばれ、大規模な嵩上げ工事が進む。
車両が通る度に砂埃が舞う。



新しい橋の建設工事も進められている。

